

シェイクスピア「ロミオとジュリエット」より  
ミュージカル**バレンティン・ドリーム** 歌詞全曲集

作詞：若松慎吾 / 作曲：近藤浩章

2005.8.9

【全曲一覧】

～ 第1幕～

- 01 序曲
- 02 両家の争い
- 03 リオーナへの愛
- 04 忘れろよ、あんな女
- 05 マリエットの縁談
- 06 出会いの予感
- 07 仮面舞踏会
- 08 宿命の恋
- 09 バルコニーの誓い
- 10 バレンス神父の哲学的レシタティブ
- 11 恋の縄梯子(なわばしご)
- 12 結婚式
- 13 決闘
- 14 混乱
- 15 ベルノの追放
- 16 変わらぬ愛

【登場人物】

[カレンツァ家]

- ・ベルノ(カレンツァ家の息子)
- ・ボレッシオ(カレンツァ家の当主)
- ・フロレンス(当主の妻)
- ・レバンテ(ベルノの従兄弟)
- ・ボルミオ(ベルノの従兄弟)
- ・カレンツァ家の若者たち

[パルミア家]

- ・マリエット(パルミア家の娘)
- ・オルプラス(パルミア家の当主)
- ・ラベンナ(当主の妻)
- ・フェラーダ(マリエットの従兄弟)
- ・ガンビーノ(マリエットの従兄弟)
- ・ピトリーナ(パルミア家の乳母)
- ・ピーター(乳母の従僕)
- ・パルミア家の若者たち

～ 第2幕～

- 17 夜明けの別れ
- 18 レモーナ卿の求婚
- 19 木曜日は教会へ
- 20 薬を授けるバレンス
- 21 徹夜の召使たち
- 22 眠るマリエット
- 23 両親の嘆き
- 24 トラストの白い午後
- 25 薬売り
- 26 すれちがい
- 27 レモーナ卿の愛
- 28 墓をあけるベルノ
- 29 レモーナ卿の選択
- 30 ベルノの選択
- 31 マリエットの選択
- 32 レクイエムからの復活

- ・バレンス(神父)
- ・レモーナ卿(マリエットの許婚者)
- ・リオーナ(ベルノが恋する女性)
- ・マジョーレ(毒薬売りの老婆)
- ・運命の女王(Sop)
- ・運命の三女神
  - クロソフィ(Sop)
  - メゾラーノ(Mez)
  - アルトボス(Alt)
- ・天使の子どもたち
- ・市民たち、子どもたち

M01 序曲

(運命) 「錆びついた 古い争いに咲いた  
若き恋の ものがたり  
三日の恋 四日目の 悲劇  
運命(さだめ)のままに流れるのか

この世の争いが 運命を作るのか  
いくつかの 憎しみが 今もまた  
いくつかの 命を 奪ってゆく」

(全員) いくつかの 真実と  
取り戻せない 愛  
いくつかの 青春と  
還らない 命

M02 両家の争い

(オルプラス) わしは がまんができない  
カレンツァという名前は  
この世に 存在させてはならぬ  
うじ虫 カレンツァ!  
やつらが ヴェラーザにいる限り  
この町に 平和はない  
この町に 安らぎはない  
塩漬けにして 掃き溜めへ  
叩き込んでやれ

(ボレッシオ) わしは がまんができない  
パルミアという名前は  
この世に 存在させてはならぬ  
ひきがえる パルミア!  
やつらが ヴェラーザにいる限り  
この町に 平和はない  
この町に 安らぎはない  
踏み潰して 野良犬の  
エサにくれてやれ

(双方) 百年の昔から きさまらは 敵なのだ  
あのときの あの恨み  
わたしたちは忘れない  
必ずきさまらを 叩きつぶして  
カレンツァという名前を  
パルミアという名前を  
消してやるのだ きっと

千年の時をかけ 一族で築きあげた  
聖なる地 ヴェラーザの

境界は譲れない

必ずきさまらを ひざまずかせて  
積年の恨み  
こちらこそ  
思い知らせて やるぞ

M03 リオーナへの愛

(ベルノ) 泉のほとりに 優しく咲いてる  
白いバラのような あなたの瞳は  
今日も 寂しい翳(かげ)をたたえて  
見知らぬ恋を 映している

ため息から 立ち昇る 煙は  
燃えて 輝く 炎となり  
おさえれば 涙の 海となる  
恋は 優しい  
天使の仮面をつけた 悪魔さ  
息もつまる 苦さと  
砂糖漬けの甘さ

(リオーナ) 泉のほとりで 待ちます いつまでも  
すべてを捨て去り 戻ると誓った  
二度とは還らぬ 恋を 追いかけて  
夢のように 過ぎた季節よ  
ため息から 立ち昇る 煙は  
燃えて 輝く 炎となり  
おさえれば 涙の 海となる

(ベルノ) 「おお、リオーナ!  
天使の矢も届かない  
リオーナ、恋する僕に心を閉ざし、  
いつまで 身を固くする!」  
重くのしかかる 鳥のその羽根  
白く燃え上がる 冷たい 炎  
ああ あまりに賢い あなた  
だけど その美しさを無駄に  
幸せを間違え あなたは行く

M04 忘れろよ、あんな女

(カレンツァ家の若者たち)  
悪いこと 言わない 忘れろよ あんな女  
男はだれでも 浮気な船乗り  
港で体を休めたら  
また荒海へ 乗り出して行くのさ

きみの そんな恋は  
ひとときの迷いにして

新しい世界へ 出かけて行こうぜ

パルミアのやつらは 今夜が舞踏会だ  
きれいどころを見つけて ひと騒ぎしよう  
その目に 焼きついた  
雪のような 白い鳥も  
明日になれば カラスに見えるぜ

#### M05 マリエットの縁談

(ラベンナ)レモーナさまを 好きになれるかい  
今夜の宴(うたげ)で お会いできるのよ  
あの方のお顔は  
知性にあふれる 書物  
美しい ペンで書かれた  
楽しい物語

もし その 美しい書物を  
どこから読もうかと 迷ったら  
目という目次を まず見てごらん  
この愛の本は あなたのために  
これから 表紙をつけて  
綴じるとこなのさ

魚は これから 泳ぎはじめる  
金の表紙をつけた すてきな物語なら  
誰の目にも 立派な宝物  
どう レモーナさまを 好きになれるかい

#### M06 出会いの予感

(運命) 火は火で弱められ  
苦しみは苦しみで 抑えられる  
悲しみも ほかの悲しみで 癒える  
新しい毒を 目に注せば  
古い毒は 消え去る

だが、抜き差しならないことが 起こる  
星に宿る 恐ろしい運命が  
今宵の祝宴に 襲いかかり  
災いを起こして 命を奪おうとする

#### M07 仮面舞踏会

(ベルノ)夜の女神の ほほにきらめく  
宝石のように  
ぼくの手にもふれるには 美しすぎる  
輝きたいまつを 光を奪う あの美しさ  
カラスの群れに降り立った  
雪のような 小鳩  
ああ ぼくの身体は 動かない

金しばりに あったように  
ああ ぼくの目は まばたきもせず  
君に すいつけられたまま

(ベルノ・マリエット)

恋人の声は 銀の鈴のように  
夜空を 震わす  
耳をすますと 潮騒のような  
妙なる調べよ

(ベルノ)ぼくの心は 今まで

恋をしてたなどと いえるのか  
胸にたぎる 熱いときめきこそ  
偽りないあなたへの愛

ああ 見つめていたい いつまでも  
この命の 尽きるまで  
ああ 憎みあう 家同士でも  
愛し合えば 許される

#### M08 宿命の恋

(運命) 心を こがした あの人も  
今は 忘れて 影もない  
昨日の 思いは 消え果てて  
胸をたぎらす 新たなひと  
しかし 仇の 家どうし

たったひとつの愛が  
たったひとつの憎しみから 生まれた  
何も知らずに 出会いがあり  
気がついたとき もう取り返せない  
ふたりは 憎みあう 家どうし

#### M09 バルコニーの誓い

(ベルノ)「あの窓からさす光は、なんだろう？  
むこうは東、すると、マリエットは太陽だ」

昇れ 明るい太陽よ  
妬み深い月を 消してしまえ  
きみが 自分より 美しいからと  
月は 蒼く染まり  
悲しそうに 沈んでる

夜の闇の中で 輝くその姿  
翼のある 天使  
きみこそ 天使

(マリエット)ベルノ なぜ ベルノ なぜ  
ベルノ なぜ あなたはベルノなの  
ベルノ 名前を 捨ててください

わたしも パルミアを 捨てます  
だから お願いベルノ  
せめて わたしの恋人だと 誓って

カレンツァって 何？  
手でもない 足でもない  
体のどこでも ありはしない  
ただそれだけ  
名前に 何があるの  
バラの花は その名を どう変えようと  
甘い香りに 変わりはない

(二人) 恋の つぼみは  
白い夏の風に 吹かれて  
美しい 花をつける  
思いは 海のように 果てなく 深い

木霊(こだま)が 棲むという  
洞窟が 崩れ落ちて  
冷たい 風の中で  
むなしく 消されようと  
あなたの 名を呼ぶ

変わらぬ この愛 きみに捧げて  
あなたと ふたりで  
世界の果てまで ともに歩きたい

(マリエット)「あなたはどなた？ 夜の闇にまぎれて、  
私の秘密を聞くのは」

(ベルノ)マリエット ぼくの 名前など  
紙に 書いてあるものならば  
引き裂いて しまいたい  
ぼくは ベルノの名を 捨ててしまおう  
そうすれば きみの 恋人だと誓える  
そうすれば きみの 恋人だと誓える

(二人) 今宵 あなたと 初めて 会って  
この胸が 震える  
小箱の中から 飛び立つ 希望のように  
この心は 羽ばたく  
降り注げ 夜空の 星くずよ  
砂の中から 拾いあげて  
銀の鎖に しよう

あなたと 愛の鎖で つながれるなら  
たとえ 地の果てで死んでも  
かまいはしない

魔法の力が あなたを 呼んで

この胸が ときめく  
弓の使い手 キュービッドの矢のように  
とても うるわしい その瞳

咲き誇れ ま白い 恋のつぼみよ  
夏の育む 息吹を受けて  
花を美しく 咲かそう  
あなたの手に その花を  
渡すことが できれば  
海の 向こうへでも ふたりで 行ける

(ベルノ)目に 眠りが  
胸には 平和が 訪れるように  
眠りとも 平和ともなって  
きみを 優しく 休ませたい

おやすみ 別れのとき  
おやすみ 別れのとき  
きみを乗せる 小舟になって  
ぼくは 迎えに くるよ  
夢の渚を ふたりで  
どこまでも 進もう

おやすみ 別れのとき  
おやすみ 別れのとき  
Time for good night

M10 バレンス神父の哲学的レシタティブ

(バレンス)灰色の 目をした朝が  
渋い色の 夜に 微笑み  
東の雲を 縁で彩る  
まだらな闇が タイタンの道から  
酔っ払いのように 逃げて行く

おお 不思議なもの 草木 金石  
この地上に 生きとし生けるもの  
必ずなんらかの 利益をもたらす  
善も 方法を誤れば 悪となり  
悪も 活用いかんで 役に立つ  
可憐な 恋という 花びらの中に  
毒もこもれば 薬も宿る

若者の恋は 心に宿らず 目に宿る  
恋におぼれるベルノ  
ひとつを葬った日に 別の恋を掘り起こす  
ああ 男 頼みがたき時 女 身を誤る

M11 恋の縄梯子

(ピトリーナ&ピーター)

暗くなったら 縄梯子をかける

それを使って 今夜お嬢様が  
ベルノのもとへ そっとかけつける  
頼みの綱 恋の縄梯子

暗くなったら 縄梯子をかける  
汗をふきふき マリエットのために  
だけど 夜になったら  
お嬢様が 汗かく番だよ  
恋の縄梯子

神に召された 娘に代わり  
手塩にかけて育てた マリエット  
あの子が 幸せなら わたしは満足  
あの娘に お恵みがありますように  
そのためわたしは 走り回る  
わたしは 恋の縄梯子

#### M12 結婚式

(バレンス)神よ 願わくば  
この聖なる 契(ちぎ)りに ほほえみを  
後日 悲しみを下して  
お叱りくださりませぬように

(ベルノとマリエット)恋人は 夏の風に  
たわむれて ゆらめき  
たとえば 二人で  
蜻蛉(かげろう)にも 乗れる  
互いに 心がつながる ときには  
凍てつく 冬にも 耐えられる  
聖なる言葉が 二人を結べば  
恋さえ滅ぼしてしまう 冷酷な 死といえど  
いったい何が できようか

(バレンス)異常な喜びは 異常な結末を 遂げる  
喜びの絶頂で 滅ぶ  
蜜も 甘すぎれば かえっていやになるさ  
そうさ 蜜をなめすぎると 食欲を損なう  
だから 恋も ほどほどにしなさい  
ほどよければ 末は永い

(二人) 夕暮れの 水辺には  
甘い香り 漂い  
光があふれて  
夢のような しあわせ

#### M13 決闘

(フェラーダ)うじ虫! レバンテ!  
ベルノは どうした  
こしぬけ やろう  
きさまの腕じゃ レバンテ

俺さまの 相手にならぬ  
歌うように リズムを合わせて  
ちゃんと二つ数え  
ワンツースリーで ずぶりと胸だ

(レバンテ)野良猫! フェラーダ!  
犬に喰われる 弱虫やろう  
けんかっぱやい 猫すけ  
人間さまを 引っかくだけだ  
初心者クラスのテキストどおりじゃ  
役に立つわけないぜ  
今夜こそ決着つけよう

(決闘。レバンテ、フェラーダ倒れる)

逃げろ 逃げろ 逃げろ ベルノ  
逃げろ 逃げろ 逃げろ ベルノ  
騒ぎが起こるぞ フェラーダは死んだ  
おまえも 死ぬぞ 死刑の宣告だぞ

早く 早く 早く 逃げろ  
早く 逃げろ 逃げろ ベルノ

#### M14 混乱

(フロレンス)レバンテ! ああ 私の甥が  
ああ 神様 ああ あなた  
ああ 血が流された 大事な身内の  
ああ 神様 あなたが 公平なら  
どうか 私たち一族の 血の償いに  
パルミアの血も 流してください  
ああ レバンテ ああ レバンテ

(ラベンナ)フェラーダ! ああ 私の甥が  
ああ 神様 ああ あなた  
ああ 血が流された 大事な身内の  
ああ 神様 あなたが 公平なら  
どうか 私たち一族の 血の償いに  
カレンツァの血も 流してください  
ああ フェラーダ ああ フェラーダ

(二人) ああ 神様 ああ 神様  
ああ 血が流された 大事な身内の  
ああ 私は 忘れない  
今日という日の 悲しみを  
ああ 神様 ああ 神様  
ああ 神様 ああ 神様  
正しい お裁きを

#### M15 ベルノの追放

(運命) 涙も 祈りも 犯した罪を 償えない

Bad Verno is banished  
願いも 言い訳も すべて 届かない  
Bad Verno is banished  
両家の憎しみの 争いが  
Bad Verno is banished  
またひとつ 悲劇を 作る  
Bad Verno is banished

(運命の三女神) Banishment 追放  
Banishment 死よりも 恐ろしい  
Banishment あるのは 煉獄ばかり  
Banishment 死刑の ごまかし  
Banishment 金の斧で 首を打ち落とす  
Banishment 死刑ではない 追放  
Banishment 悪魔の言葉  
Banishment 地獄のうめき声

天国は ヴェラーザ  
マリエットのところ  
猫もネズミも 天国に住み  
マリエットの顔を  
見ることが できる  
だが ベルノには それができない  
できない できない

天国は ヴェラーザ  
マリエットのところ  
汚物にたかる ハエであろうと  
マリエットの白い手  
ふれることが できる  
だが ベルノには それができない  
できない できない

Bad Verno is banished  
ベルノは 追放

M16 変わらぬ愛  
(マリエット)おお 自然の神様  
あなたは地獄で  
どんなお裁きを  
なさっておられるのですか

花の顔に隠れた  
毒蛇のような 心  
あんなきれいな洞窟に  
恐ろしい竜が  
潜んでいるのかしら  
天使のような悪魔  
狼の心を持った羊  
さあ 嘆きのラッパよ

この世の終わりを 告げるがいい  
信じられない報せ  
呪わしい あの言葉  
わたしの胸は 張り裂けそう  
フェラーダの死よりも  
悲しみがのしかかる  
ベルノの追放 それだけで  
一万人の フェラーダが死んだも 同じ  
さあ 地獄の遣いよ  
わたしの命も 奪うがいい

M17 夜明けの別れ  
(ベルノ)ひばりの あの声が ぼくらの  
別れを告げる  
いじわるな 光の束が  
東の空で  
雲に 飾りを つけ始めた

夜の明かりは 燃え尽きて  
素早い朝が 山の頂(いただき)から  
こちらを 窺(うかが)っている

あの朝日が トラストへの道を  
照らしてくれるだろう  
さよなら マリエット 別れのときだ  
もう 涙を拭いて 送っておくれ  
たとえ 遠く 離れても  
ぼくは必ず きみのもとに戻るから

M18 レモーナ卿の求婚  
(レモーナ卿)いま きみが 絶望の淵に立ち  
月の女神が 青白い光を  
きみの額に 投げかけていようと  
やがて 太陽は 夜の霧を 吹き払い  
朝を 呼ぶよ さあ マリエット  
閉ざされた 窓を開けて  
光を入れてごらん  
そして 私を信じてくれ  
暗く 果てない夜も ここで 終わるよ

いま きみの 涙も涸れ果てて  
わずかな 翳りも知らぬ きみの瞳が  
深い苦しみを まとっていようと  
やがて 朝もやの中に ひとすじ輝く  
光が差すよ さあ マリエット  
閉ざされた 窓を開けて  
光を入れてごらん  
そして 私を信じてくれ  
暗く 果てない夜も ここで 終わるよ

死ぬ自由だって まだ残っている

M19 木曜日は教会へ

(オルブラス)木曜日は バレンス教会へ 行きなさい  
レモーナさまと 馬車に乗って  
バレンス教会へ 行きなさい  
誉れ高き 名門の家  
お人柄も 申し分なし  
木曜日は 結婚式だ

(ラベンナ)いつまで 泣いている つもりなの

フェラーダが死んだからと  
悲しむだけでは 浮かばれない  
だから 泣くのは もうおやめ  
涙は まごころのしるしだけれど  
あまり悲しむのは 利口でない

(二人) 木曜日は バレンス教会へ 行きなさい

レモーナさまと 馬車に乗って  
バレンス教会へ 行きなさい  
誉れ高き 名門の家  
お人柄も 申し分なし  
木曜日は 結婚式だ

(マリエット)お願い ばあや

力をかけて 助けて  
ベルノとは もう夫婦の誓いを  
神様の前で 交わした  
鋼(はがね)のように 固い約束  
誰の手でも こわせはしない  
レモーナ様に お断りをして

(ピトリーナ)ベルノは もう 追放になって

人目を 忍んでこなければ  
あなたのところへ 戻れない  
だから ベルノなど もう忘れて  
レモーナさまの お嫁になるのが  
今となっては 幸せの 道でしょう

(両親と乳母)木曜日は バレンス教会へ 行きなさい

レモーナさまと 馬車に乗って  
バレンス教会へ 行きなさい  
誉れ高き 名門の家  
お人柄も 申し分なし  
木曜日は 結婚式だ

(マリエット)何てことよ 裏切りばあや 許せない

まるで悪魔 わたしにまで  
誓いを破れと 言うとは  
でも わたしは まだ負けない  
どんな運命も わたしが選ぶ

M20 薬を受けるバレンス神父

(バレンス)マリエット

蛇のいる穴の中に 潜りこめるか  
ほえ狂う 熊と一緒に  
つながれても 平気か

からからと ぶつかり合う  
骸骨や 死人の足が  
散らばっている 墓の中に  
閉じ込められても 平気か

ならば レモーナ卿との  
結婚を 承諾するのだ  
そして 明日の夜に  
この薬を 飲むがいい  
たちまち 体じゅうの血管に  
冷たい血が 行き渡り  
死んだように 冷えて  
息も止めてくれるだろう  
しかしそれは 32時間だけの  
ひとときの姿

おまえは 墓の中  
やがては 目が覚める  
そこには ベルノが いるだろう  
そして おまえは 行くのだ トラストへ  
トラストで ベルノとの  
新しい人生を 見つけるがよい  
さあ 薬を 手に 取りなさい  
勇気を出して さあ 薬を

(マリエット)愛よ わたしに 勇気を与えておくれ

愛よ わたしに 勇気を与えておくれ

M21 徹夜の召使たち

(召使たち)さあ忙しい さあ忙しい

さあ忙しい さあ忙しい  
明日の仕込みを しなけりゃならぬ  
今夜は 徹夜だ まかしとけ  
マリエットの 結婚式だよ

この椅子を かたづけろ  
食器棚を 運ぶんだ  
おっと 皿を落とすなよ  
おめでたい 結婚式だよ

さあ忙しい さあ忙しい  
塩はあそこだ 胡椒はそこだ

杏(あんず)のお菓子は 残しておけよ  
俺たちが食べる分くらい  
マリエットの 結婚式だよ

さあさあ 働け 働け  
二番どりが もう鳴いた  
夜明けの鐘だぞ もう3時  
Ah- Ah- Ah-  
マリエットの 結婚式だよ

#### M22 眠るマリエット

(マリエット) 不安だ

温かい 命の血が 凍ってしまう  
不安だ  
バラ色の 唇や頬 褪せてしまう  
不安だ 不安だ

不安だ  
この薬に 何の効き目も ないのでは  
不安だ  
明日の朝 いつものように 目覚めるのでは  
不安だ 不安だ

不安だ  
ベルノが 来てくれる前に 気がつくのでは  
不安だ  
墓の中で 息が詰まってしまうのでは  
不安だ 不安だ

ああ きっと 真っ暗な  
夜の 恐ろしい 幻が浮かんでくる  
目が覚めたら わたしは 気が狂いそう  
おお あそこに フェラーダの亡霊  
ベルノを探してる 剣を手に  
殺された 仕返しを しようとしている  
待って フェラーダ!

愛よ わたしに 勇気を与えておくれ  
愛よ わたしに 勇気を与えておくれ

#### M23 両親の嘆き

(ラベンナ) マリエット マリエット

マリエット マリエット ああ マリエット!  
目を開けておくれ 生き返っておくれ  
おまえが 死ねば わたしも 一緒に  
死んでしまう  
死神が 思いがけない  
霜のように 降りてきて  
野原の 美しい 一輪の花を  
枯らしてしまった

(オルプラス) マリエット マリエット

マリエット マリエットどうした マリエット!  
目を開けておくれ 生き返っておくれ  
死神が わしの婿となり  
跡継ぎとなりおった なんてことだ  
憎んでも 飽き足らぬ 死神  
おまえに だまされた  
娘と 一緒に わしの夢は  
棺に 入ってしまうのだ

(二人) 祝いの曲は 淋しい鐘に 取り替える  
めでたい酒は 甲い客の もてなしに  
明るい賛美歌は 沈んだ挽歌にしる  
花束で マリエットの 遺骸を包むのだ

#### M24 トラストの白い午後

(ベルノ) きみのいない この町

白い午後が 日暮れを待って  
風になびく シルクのカーテン  
枯れた花に 倒れたグラス  
独りぼっちの この部屋で  
独りぼっちの この部屋で ぼくは...

ヴェラーザからの 報せ  
二度と還らぬ いとしい マリエット  
疲れ果てて 途切れた 愛  
窓から射す うつろな光

ああ マリエット 愛していた  
ぼくは 愛していた  
それが なぜ ここにいる  
こんなところで 生きている  
マリエットは 死んだ  
風に散る バラの花のように

なぜ あのとき 言えなかったのか  
二人で 地の果てまで 逃げようと  
ああ マリエット 愛していた  
愛していた ぼくは

ぼくも 眠ろう 今夜 ヴェラーザで  
それまで 待っていておくれ

#### M25 薬売り

(マジョーレ) 薬はいらんか

飲めばたちまち 血管に行き渡り  
苦しみが すぐ止まる  
弱ったやつも  
からだじゅうに力が よみがえるのさ



とびきり よく効く 薬じゃ

薬はいらんか  
元気がないやつ 一服ですぐ治る  
猛烈な 爆弾が 飛び散るように  
からだから病気を 吹き飛ばすのさ  
とびきり よく効く 薬じゃ

おまえの目には 絶望が  
渦を巻いておるではないか  
背中にゃ 骸骨 ぶら下がっておる  
この世のおきては 冷酷だろう  
おまえを 見捨てて 逃げたろう  
そんな おまえに よく効く薬  
さあ 持ってけ この 薬を

#### M26 すれちがい

(バレンス)ベルノ ベルノ どこにいるのだ ベルノ

(運命) ベルノはこの町に いない

マリエットの 悲しい知らせを胸に  
早馬を飛ばして 行った  
ヴェラーザへ 骨をうずめに

(バレンス)だれが そんなことを 教えたのだ

(運命) 忠実な ベルノの僕(しもべ)さ

とちゅう ゆきずりの 懺悔(ざんげ)で  
道草をした おまえより  
そいつのほうが 早かった

(バレンス)「気の毒な病人に出会い、やむを得なかつたのだ。だが、そのためにベルノと行き違いになってしまったか。こうしてはおれぬ、急いでヴェラーザへ戻らねば。墓の中で、マリエットが目覚ます」

(運命) おまえの 関わったのは 疫病患者

疫病の疑いが 晴れるまで  
おまえは このトラスタで  
2時間足止めされるだろう

(バレンス)おお そうか おまえが

ベルノの運命を もてあそび  
レバンテを フェラーダを  
殺したのだな

(運命) 人の運命(さだめ)は 自らが 選ぶ

おまえが ざんげで 遅れたように  
すべては 自分で決めたこと  
わたしはそれを見つめているだけ

#### M27 レモーナ卿の愛

(レモーナ卿) マリエット ぼくは 信じられない

あの朝 突然に この世を去った  
花嫁衣裳を 残して  
いま きみは 冷たい石の下

花をささげて きみのベッドを 飾る  
水が 枯れたら 悲しみにしぼる  
涙を添えよう  
きみにささげる 心の手向けに  
夜ごと きみの墓に 花と 涙を

#### M28 墓をあけるベルノ

(三女神) 暗闇の中 ベルノの足音が

土くれを 踏みしめて  
ベルノが やってくる  
亡霊のように さびしいその姿  
たいまつに照らされて  
ベルノが やってくる

(ベルノ) 恐ろしい 地獄だ

俺の心も 狂いたつ  
獲物を求め 荒れ狂う 狼の心  
おのれ 死人を食らう 忌まわしい胃袋よ  
腐った きさまのあごなど こじあけてやる

#### M29 レモーナ卿の選択

(レモーナ卿) ベルノ! 恥知らずなまねは やめる

フェラーダを 殺しても 飽き足らず  
マリエットの遺骸にまで  
仕打ちを加えるとは  
天に代わる このレモーナの剣を  
受けてみる

#### M30 ベルノの選択

(ベルノ) きみの 蜜のような 甘い息を

吸い取ってしまった 死神も  
バラのような きみの美しさを  
どうすることも まだ できないよ  
おお マリエット なぜきみは  
死してもこのように 美しいのか

墓場に 棲みついている 魔物たちも  
きみに 恋しているというのだろうか  
それが心配だから ぼくはここに  
いつまでも きみのそばを 離れないよ  
運命の 頸木(くびき)を 振り落とし  
人生に 疲れた このからだから  
宿命に 呪われた 束縛を  
力の限り いま 断ち切るのだ  
さあ 命知らずの 舵取りよ

あの岩かどへ 船を ぶつけてくれ

荒波に 破れ果てた  
この船に もう港はいらない  
嵐の海も 深く沈めば 安らぎが  
さあ 恋人に 乾杯だ

### M31 マリエットの選択

(マリエット) 暗い夜に 目が覚めて  
そこは墓の中 何も無い  
だれか そばにいてほしい  
けれど なぜか 冷たい  
ベルノが ここに

(運命) 「神父が、ベルノにおまえのことを、伝えそこ  
なった。ベルノはそれを知らずに、絶望した。  
おまえが恨むものは何か？」

(マリエット) 「私は、だれも恨まない。  
神父さまからいただいた薬を、飲んだのは、  
私です。ベルノ、ごめんなさい」

マリエット その口で 口づけを もう一度私に  
そのくちびるから あなたの命を  
奪った 薬を 私に  
愛し合い 傷ついた 私たちに  
残された ただひとつの 安らぎ  
さあ 剣よ ここが おまえの鞘(さや)  
さあ ここに おさまっておくれ

### M32 レクイエムからの復活

(バレンス) 魂の 入り口を 赤く染め  
若い血が流れた  
死や 不自然が 眠り 巢食うところに  
また命が 呑みこまれた  
人の力の 及ばぬ大きな力に  
人のもくろみは もろくも破れ  
青春が 断ち切られて むなしく消えた

(市民たち) いくつかの 真実と  
いくつかの 愛  
いくつかの 青春と  
いくつかの 命

(バレンス) わずかのすれ違いに 引き裂かれた  
二人の愛  
すべては 私のあやまち  
還らぬ 命

(市民たち) いくつかの 真実と  
いくつかの 愛

いくつかの 青春と  
いくつかの 命

(両家の両親たち)

恨みや 憎しみから  
生まれるものは ただ 憎しみ  
赦しあおう きょうだいよ  
戻らぬ息子に 娘に誓う

(運命) 赦しあう者には  
平和と 安らぎが宿る  
マリエットは その不幸なときに  
だれも恨まず  
復讐の連鎖が切れた

パルミアの家に 伝わる 復讐の剣は  
5百余年の 呪いから 解放たれて  
正義の剣に 戻ることができた

(運命) 「マリエットは 再び目を開けるだろう。  
正義の剣は ベルノを侵した毒を消し、ベル  
ノの魂が 地獄の門をくぐる前に、この世へ  
呼び戻すだろう」

恨みの剣の刃(やいば)で  
その命を 落とした者も  
奇跡の力で よみがえるだろう

(市民たち) ハレルヤ

いくつかの 真実と  
いくつかの 愛 すべては  
赦しあう そのときに  
よみがえる 命

(全員) 静かに 輝く 夜明けがくる  
太陽も 微笑を 投げかけ昇る  
赦される者 生きて行く者  
すべての魂を 優しく包む  
朝がいまヴェラータに 訪れる

いくつかの 真実と  
いくつかの 愛  
いくつかの 青春と  
いくつかの 命

いくつかの 真実と  
いくつかの 愛  
いくつかの 青春と  
いくつかの 命

幕